

## ポラリス児童クラブ(別府市)で避難マニュアルを作成する為の研修を行いました！

7月6日に大分県防災アドバイザーとして派遣されたのがご縁で10日、17日、9月11日と計4回にわたってワークショップを中心に研修を行いました。

南海トラフ大地震が懸念されていることから、地震で津波が発生した時、児童クラブの施設が海辺に立地している事を考えると、利用する子供たちの命をどう守ればいいのかと、真剣に悩む指導員さんたちの姿がありました。

まず、7月6日は、防災上の課題の洗い出しとして皆さんが抱える不安などをポストイットに記入して頂き模造紙にランダムに貼付してまとめる作業をしました。

7月10日は、前回の内容を受けてその解決策をマップを見ながら皆で考え、17日に実際に街歩きをし災害状況に合わせた避難の方法を確認しました。

講師を務めたセンターの清松事務局長の具体的な

アドバイスもあり、この時点で指導員さんたちの災害や避難行動に対する



視点が変わり、当初抱いていた不安がかなり解消されたようでした。

最終日9月11日には、発災から避難行動に移るまでの行動を災害別にタイムラインで考えてみました。特に、緊急地震速報がなる前に起きた別府湾直下地震を想定した垂直避難の方法も確認しました。最後に、非常持出袋に入る防災グッズの選び方を皆で検討しました。

この研修によって、8人の指導員さんが災害への備えや対応方法などを共有できた事は良かったと思います。

センターとしては、こうした取り組みが、関係者に広まることを期待しています。

